

# ADDICTION NEWS 28

ニュースレター  
2017年1月31日発行  
日本アディクション看護学会事務局

**A** 日本アディクション看護学会  
Japanese Society for Study in Addiction Nursing

## Topic

第15回学術集会を終えて  
第16回日本アディクション看護学会学術集会開催に向けて  
平成28年度日本アディクション看護学会研究助成について  
平成28年度アディクション看護学会研修会のご案内  
事務局からのお知らせ

## 第15回学術集会を終えて

実行委員長 心光 世津子（武庫川女子大学看護学部准教授）

2016年9月3日（土）・4日（日）の2日間、第15回学術集会を兵庫県西宮市の武庫川女子大学にて開催いたしました（会長：寶田穂教授）。

日本アディクション看護学会としては初の西日本開催でしたが、当日は、全国から看護師、精神保健福祉士、心理士、当事者、ご家族などさまざまな立場の約300名の方がご参加くださり、大変活発な交流がされました。ちょうど台風13号が近づきつつあった時期でしたが、不思議と会期中はほとんど風雨に見舞われること

なく、無事に終了することができました。1年前から準備にかかわりご支援くださった皆様、そして、ご参加くださいました皆様には、心より御礼申し上げます。

今回の学術集会のテーマは「依存症と感情～拒否の連鎖から支援の連鎖へ～」といたしました。依存症をめぐる人々の感情と支援について考えていくような会になればと、このテーマを軸に企画運営委員会で内容を検討いたしました。

1日目の会長講演では、寶田会長より、「看護におけ



会長講演



一般演題口演セッション

る多様性と感情」と題して、多様な価値観や背景をもつ対象に向き合う看護師自身の感情を取り扱う重要性が、これまでのご自身の研究知見を交えながら語られました。続く基調講演では、日本赤十字看護大学名誉教授の武井麻子先生より「自由であること・とらわれること」と題して、武井先生ご自身の生き方や最終講義のお話から、愛着のパターンと「甘え」の関係、そして自助グループでの回復まで、大変濃い内容のご講演をいただきました。

1日目午後からの特別講演では、大久保クリニック院長の大久保圭策先生より、「発達障害とトラウマ～アディクションからコネクションへ～」と題してご講演いただきました。“困難事例”の背景にあるアディクション問題や、さらにその背景にしばしばある発達障害やトラウマ後遺症について、その診断を出すことはコネクションの入り口でなくてはいけけないのに、診断だけを下すディスコネクション（つながりの切断）になっていないか、という問題提起は、大変考えさせられました。また、1日目午後は、この講演と並行して、特別企画「アディクション・ライブラリー～アディクションについて『語る本』の図書館～」を開催いたしました。これは、人間が「本」になり、来場者に30分貸し出され、本が語るという企画です。薬物依存、アルコール依存、ギャンブル依存、性依存からの回復の物語や、家族や支援者の物語が貸し出されていき、会場内のあちこちに語りの輪ができていました。

1日目の終了後には、会場近くのイタリアンレストランにて懇親会を開催し、参加者同士の親睦を深めました。今回は、元タカラジェンヌでタレントの彩羽真矢あやはねまやさんをスペシャルゲストとしてお招きし、トークと歌をご披露いただきました。

2日目の教育講演「家族支援の見立て～ Negative な連

鎖から Positive な連鎖へ～」では、本学文学部教授の倉石哲也先生より、さまざまな家族面接の事例から、家族にどのように溶け込み（ジョイニング）介入をしていくか、様々なスキルをご講演いただきました。また、ランチオンセミナーでは、薬物依存症回復支援団体 Freedom 代表の倉田めば先生より、「痛みとアディクション～生きるために自分を壊す以外の方法を求めて～」と題してご講演をいただきました。事前にお申し込みをいただいた100名の方々に加え、当日聴講のみを希望される方も多数おられ、大きな講義室はほぼ満員状態でした。

2日目午後は、シンポジウム「アディクション問題における感情とケア～支援の連鎖をめざして～」を開催いたしました。奥村純子先生（岐阜県看護協会専務理事）が保健師の立場から、松本良枝先生（大阪府立高等学校指導養護教諭）が養護教諭の立場から、辻本直子先生（有限会社オラシオン代表取締役）が精神保健福祉士の立場から、大川和男先生（国立病院機構下総精神医療センター看護師）が看護師の立場から、これまでのご実践のなかで生じた様々な感情にどのように向き合ってきたのかが語られ、後半は、フロアの方も交えディスカッションが展開されました。

こうした講演や企画に加えて、2日間をとおして、6つの魅力的な交流集会和4つの一般演題口演セッション（計16演題）、そして3つのポスター発表が行われました。たくさん演題や交流集会をご応募いただき、常に複数のプログラムが同時並行で開催されることとなり、企画者としてはうれしい悲鳴でしたが、参加された皆様の中にはどのプログラムに参加するかで迷われた方もあったかと思えます。どの会場も大変盛況で、内容も充実していました。非会員の方々からも、困難事例のアディクションの側面や、ケア提供者の感情の側面など様々なことを考えたと嬉しいお声をいただいております。



ポスターセッション



懇親会



ランチョンセミナー



シンポジウム

多くの皆様をご参加くださり、また、後援の武庫川女子大学から補助があったこともあり、おかげさまで何とか赤字にならず学会会計からの支援金も全額お返しすることができました。武庫川女子大学看護学部としましては学部新設後初の学術集会開催であり、行き届かぬ点も

あったかとは存じますが、スタッフ一同、この学術集会を通して多くの学びをさせていただきました。

最後に、第15回学術集会を支えてくださった皆様、当日でご参加くださいました皆様に、改めまして御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

## 第16回日本アディクション看護学会学術集会開催に向けて

第16回学術集会大会長 村松 仁（群馬パース大学保健科学部看護学科）

この度、第16回日本アディクション看護学会学術集会を、2017年9月2日（土）3日（日）の2日にわたり、群馬パース大学で開催致します。本学術集会の開催に際し、会員および関係者の皆様から多大なるご協力・ご配慮を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

近年、アルコール健康障害対策基本法の制定や統合型リゾート整備推進法など、アディクション関連問題に対する社会的な対応の動きを鑑みますと、アディクション関連問題に対する看護はより一層その必要性と専門性が問われる状況にあり、アディクション看護をさらに発展させていくことが本学会及び学術集会に求められている社会的な責務であると考えます。そこで、本学術集会のテーマを「アディクションを超えて－看護のはたらきを考える－」と致しました。これまでに積み重ねられてきたアディクション関連問題に対する看護の学びを基盤とし、アディクション関連問題に対する看護の未来を皆様と考え、討議を行い、現状を超える力を分かち合い、未来に向かって今を超えることを考えました。

今回のプログラムは、日本のアディクション看護の草分けでもある赤城高原ホスピタル看護部部長の山田浩三氏から基調講演を頂き、アディクション関連問題の看護に関する貴重かつ豊富な臨床経験を元に今後のアディクション看護のあり方についてご示唆頂けると考えており

ます。また、廣中直行氏から脳科学から見たアディクションについて、稗田里香氏から身体診療科における依存症者の対応、専門治療へつなぐ方策について、それぞれ教育講演を頂きます。そして、今回は特別講演として、立川らく朝師匠による健康落語を企画しています。立川らく朝師匠は、医師でもあり落語家でもある大変ユニークな経歴をお持ちです。日本の古典芸能でもある落語を通じ、アディクションを考えることにつなげることを企画致しました。どうぞ多くの方のご参加をお待ち申し上げております。

会場の群馬パース大学は群馬県高崎市にある私立大学です。交通の便はとても良く、また、大学のある群馬県は首都圏から近く、草津や伊香保、水上温泉郷などを始めとした癒しの温泉や、世界遺産の富岡製糸場など多くの文化に触れることができます。学術集会の学びのみならず、群馬県の豊かな自然や文化に触れて頂き学んでいただければ幸いです。

### 学術集会概要

1. 会期：平成29年9月2日（土）・3日（土）
2. 会場：群馬パース大学（群馬県高崎市問屋町1-7-1）
3. プログラム：
  - 9月2日（土）
    - 1 大会長講演：村松 仁（群馬パース大学）「アディ

クシオンを超えて一看護のはたらきを考える」

- II 基調講演：山田浩三（赤城高原ホスピタル）
- III 教育講演1：稗田理香（東海大学健康科学部）
- IV 一般演題発表・交流集会
- V 懇親会

#### 9月3日（日）

- I 教育講演2：廣中直行（一般社団法人マーケティング共創協会）
- II 一般講演・交流集会
- III 特別講演：立川らく朝
- IV 総会 ＊プログラム内容は1月20日現在の状況です。変更がある場合は随時学術集会HPでお知らせします。

#### 4. 一般演題募集要領

一般演題を以下の要綱で募集します。研究報告の他、日々の実践に関する報告もご応募できますので、是非一般演題の投稿をお願い致します。

- I 演題募集期間：平成29年2月1日（水）から4月21日（金）まで
- II 下記要領で抄録原稿をMicrosoft Wordで作成して下さい。
  - 01 ファイル名：「発表者氏名.doc」または「発表者氏名.docx」
  - 02 原稿ファイルをメール添付で下記メールアドレスに送信して下さい。
- III 送信先 e-mail：jadict16-gakkai@umin.ac.jp
  - 01 メール件名：「第16回日本アディクション看護学会学術集会一般演題抄録」と記載して下さい。
  - 02 メール本文：発表者名、所属、演題名、連絡先、メールアドレスを記載して下さい。
- IV 抄録様式
  - 01 用紙サイズ：A4用紙横書き、余白：上下25mm、左右25mm、文字数：本文40字×40行、1枚以内。
  - 02 演題名：第1行に中央寄せ（12pt）
  - 03 副題：あれば第2行に中央寄せ（10.5pt）
  - 04 氏名（所属）：演題（副題）より1行空けて右寄せ（10.5pt） ＊連名の場合は発表者名の前に○をつけて下さい。
  - 05 抄録本文：氏名（所属）から1行空けて始めて下さい。
  - 06 本文のフォントサイズ：10.5ポイント・明朝体
  - 07 抄録本文の記載項目：
    - ①. 研究報告の場合：【目的】【方法】【結果】【考察】についてそれぞれ記述して下さい。

- ②. 実践報告の場合：【実践の目的】【実践内容】【成果】【今後の課題】についてそれぞれ記述して下さい。
- ③. 研究報告及び実践報告のいずれにおいても、倫理的配慮に関する説明は必ず記載して下さい。所属あるいはその他の研究倫理審査委員会等で承認されている場合は、その旨を記載して下さい。

08 図表を使用する場合は、WordファイルとPDFファイルをご提出下さい。

- V 受理：事務局からの返信を以て受理とさせていただきます。
- VI 採否の通知：ご応募頂いた演題は、査読を経て採否を決定します。査読の結果、修正をお願いする場合があります。採択の場合は、別途本学術集会事務局より採択の通知をメールで連絡致します。なお、査読は以下の観点より行います。
  - ①. 抄録の体裁（一般演題募集要綱に従って抄録を作成していること）。
  - ②. 目的、方法、倫理的配慮、結果、考察の各項目について記載があること。
- VII その他：発表者及び共同研究者は本学会員であることが必要です。本学会員でない場合は、速やかに本学会への入会手続を完了して下さい。

#### 5. 交流集会募集要領

交流集會を以下の要領で募集します。

日頃の研究・臨床活動について、会員を始め多くの方々と課題を共有し、今後につなげて頂ける絶好の機会です。是非ご応募をお願い致します。

- I 演題募集期間：平成29年2月1日（水）から4月21日（金）まで
- II 下記要領で交流集会要旨をMicrosoft Wordで作成しして下さい。
  - 01 ファイル名を「発表者氏名.doc」または「発表者氏名.docx」
  - 02 作成した原稿ファイルをメール添付にて下記に送信して下さい。
- III 送信先 e-mail：jadict16-gakkai@umin.ac.jp
  - 01 メール件名：「第16回日本アディクション看護学会学術集会交流集会要旨」と記載して下さい。
  - 02 メール本文：企画者名、所属、交流集會名、連絡先、メールアドレスを記載して下さい。
- IV 交流集会要旨様式
  - 01 用紙サイズ：A4用紙横書き、余白：上下25mm、左右25mm、文字数：本文40字×30行、1枚

- 以内。
- 02 交流集会名：第1行に中央寄せ（12pt）  
\*副題：あれば第2行に中央寄せ（10.5pt）
  - 03 氏名（所属）：交流集会名（副題）より1行空けて右寄せ（10.5pt）  
\*連名の場合は、主企画者名の前に○をつけて下さい。
  - 04 本文：氏名（所属）から1行空けて初めて下さい。  
フォント・10.5ポイント、明朝体。
  - 05 本文のフォントサイズ：10.5ポイント・明朝体
  - 06 図表を使用する場合は、WordファイルとPDFファイルをご提出下さい。
- V 受理：事務局からの返信を以て受理とさせていただきます。なお、応募多数の場合は、事務局で調整する場合があります。
- VI その他：交流集会の企画代表者（申込者）及び共同企画者は、すべて本学会員であることが必要です。本学会員でない場合は、速やかに本学会への入会手続を完了して下さい
- ## 6. 大会参加申込について
- I 大会参加申込の詳細
- 01 本学術集会への参加申込は、事前参加登録または当日参加となります。事前参加登録は、8月4日までとなります。できるだけ事前参加登録をお願いします。
  - 02 参加期・懇親会費・お弁当代について  
詳細は第16回日本アディクション看護学会学術集会ホームページをご参照ください。なお、事前参加登録で入金された参加登録費・お弁当代・懇親会費については、入金後、理由の如何を問わず一切返金できません。あらかじめご了承ください。
- II 参加費
- 01 事前参加登録（8月4日（金）まで）
  - 02 会員：5000円
  - 03 非会員：6000円
  - 04 学生（大学院生除く）：2000円
  - 05 当日参加（8月5日（土）以降）
  - 06 会員：6000円
  - 07 非会員：7000円
  - 08 学生（大学院生除く）：3000円
  - 09 懇親会：5000円
  - 10 昼食（お弁当）：各日1000円
- III 事前参加登録締切：8月4日（金）。締切以降は当日参加の料金となりますのでご注意ください。
- IV 事前参加費の納入方法：8月4日までに、以下の郵便振替口座にご入金下さい。
- 01 口座名：第16回日本アディクション看護学会学術集会
  - 02 口座番号：00200-8-138082
  - 03 通信欄に、以下の情報をご記入ください。
  - 04 氏名
  - 05 連絡先（住所・電話番号）
  - 06 会費支払いの種別  
(会員・非会員・学生、会員の場合は会員番号)
  - 07 懇親会参加の有無
  - 08 お弁当の有無
  - 09 入金の金額は、会費支払いの種別に応じた参加費と、お弁当、懇親会参加を希望の場合は、参加費にお弁当代、懇親会費を合計した金額をご入金下さい。
  - 10 事前参加登録で入金された参加登録費・お弁当代・懇親会費については、入金後、理由の如何を問わず一切返金できません。あらかじめご了承ください。
- ## 7. 問い合わせ・連絡について
- 本学術集会への連絡・問い合わせは、以下をお願いします。
- 第16回日本アディクション看護学会学術集会事務局  
〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1  
群馬パース大学保健科学部看護学科  
精神看護学領域内（Fax:027-388-0320）  
e-mail: jadict16-gakkai@umin.ac.jp

# 平成28年度 日本アディクション看護学会研究助成について

## 1. 助成の趣旨

日本アディクション看護学会（以下、本学会という）の会員が、実施する研究を助成し、もって本学会及びアディクション看護の学術研究のいっそうの発展に寄与することを目的とする。

## 2. 応募条件

- I 日本アディクション看護学会の会員が、実施するアディクションに関わる研究であること。
- II 学会員以外との共同研究の場合、会員が代表研究者として主導的に計画・実施するものとする。

- Ⅲ 平成 29 年度中に日本アディクション看護学会雑誌に 投稿が見込まれる研究。
- Ⅳ 認定要件は日本アディクション看護学会の正会員であり、申請年度までの年会費を納入していること

### 3. 助成の内容

- Ⅰ 研究に必要な経費の負担
  - ex) 切手等の送料、事務消耗費、及び補償保険実費
- Ⅱ 助成金最高 1 課題 15 万円

### 4. 応募方法

所定の申請書に必要な事項を記入し、研究計画書を添えて、日本アディクション看護学会へご提出下さい。

申請書は、学会のホームページからダウンロードが可能です。なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

### 5. 募集期間

平成 28 年 12 月 31 日（土）17 時必着

### 6. 採択課題数 1 課題

今年度より、研究助成が始まりました。残念ながら、申請がなかったため、平成 28 年度分の予算は次年度に繰越しとさせていただきます。

研究助成担当理事：近藤千春

今年度研修会を以下の通り企画いたしました。お誘いあわせの上、お申込みください。お待ちしております。

## 平成 28 年度 アディクション看護学会研修会のご案内

#### ◆申し込み先・問い合わせ先：吉岡幸子

埼玉県立大学 (yoshioka-sachiko@spu.ac.jp)

申し込みには、氏名、ご所属、連絡先、会員非会員等明記してください。

必ずメールにてお申し込みください。

#### ◆参加費用：各回、会員 1000 円、非会員 3000 円、学生 1000 円となります。

#### ◆会場：「埼玉県立大学」埼玉県越谷市三宮 820 番地 東武スカイツリーライン線「せんげん台」下車、バス 5 分（徒歩 20 分）

#### ◆内容：

第 1 回（基礎編）

日時：2 月 26 日（日）9 時 30 分～16 時

会場：埼玉県立大学南棟 204

内容：午前「依存症の基礎知識と看護の役割」

講師：吉岡幸子 埼玉県立大学看護学科

午後「動機づけ面接の基礎を学ぶ」

講師：瀬在泉 防衛医科大学看護学科

#### 第 2 回（実践編）

日時：3 月 4 日（土）9 時 30 分～16 時

会場：埼玉県立大学

内容：午前「依存症事例対応への基礎編」

講師：細尾ちあき NPO 法人ふるすあるは

午後「依存症事例対応の実践編」

講師：辻脇邦彦 東都医療大学看護学科

## 事務局からのお知らせ

学会は会員の皆様の会費で運営されております。

平成 28 年度会費のお振込がお済みでない方は、年度内のお振込みにご協力お願い致します。

（現在会員数 184 名）

口座番号 00140-1-176756

日本アディクション看護学会

年会費 8000 円

今年度より、事務局とホームページがかわりました。

<http://plaza.umin.ac.jp/~jaddictn/>

日本アディクション看護学会事務局

〒152-8558

東京都目黒区東が丘 2-5-1

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部

田中留伊研究室

事務局 e-mail：jadict-office@umin.ac.jp

日本アディクション看護学会補助機関誌

発行：平成 29 年 1 月 31 日

編集長：荒木とも子

発行者：田中 留伊

日本アディクション看護学会事務局